

# 2013 西日本ブロックフライボール競技大会

開催日 2013年11月10日(日)〈雨天決行〉

受付時間 午前7時00分～8時00分 競技時間 午後12時00分～(開始予定)

※受付時間及び競技開始時間にご注意下さい。

※個人競技の出場順は、出陳目録掲載番号順を原則とします。

※出陳目録には、当該犬のデータの他に所有者名並びに所在地(都道府県・市区)が掲載されます。

審査員長 小林 洋子

## 実施要領

### 1. 出陳等

申込開始日：2013年10月7日(月)

申込締切日：2013年10月21日(月) 郵便必着

※当日申込み及びFAXでの受付は致しません。

- 出陳犬は本会会員が所有の生後12カ月1日以上(2012年11月9日及びそれ以前の生まれ)の本会登録犬(ウェイティングリスト登録犬を含む)とします。
- 「交雑犬」、「本会の非公認犬種」及び「本会の非公認団体登録犬」につきましては、個人競技に限り出陳できます(クラブ会員所有で生後12カ月1日以上であること)。ただし、フライボールチャンピオン資格犬にはなりませんので、フライボールチャンピオン(FB.CH.)ポイントカードは付与されません。
- 伝染病・皮膚病など健康上の危惧がある犬、跛行の犬、咬癖のある犬は出陳することはできません。
- 発情した犬は、個人競技に限り出陳することができますが、当該カテゴリーの最後に競技することとします。
- 出陳犬の首輪は競技中に危険が及ばないことを原則とし、緩んだ状態が維持できる平首輪(フラット・カラー)または胴輪(ハーネス)とします。
- チームの代表者は、本会のクラブ会員とします。
- ハンドラーは、本会のクラブ会員並びにその家族とします。

### 2. 競技種目と出陳料金

〈チーム競技〉

1チームは4名のハンドラーと4頭の犬とし、予備の犬を1頭以上用意して下さい。

〈個人競技〉

- 1名のハンドラーと1頭の犬とします。
- 出陳犬の体高により次の3つのカテゴリーに分割します。
  - スモール(体高35cm未満の犬)
  - ミディアム(体高35cm以上45cm未満の犬)
  - ラージ(体高45cm以上の犬)

チーム競技	1チームに付	10,000円
個人競技	1頭に付	6,000円

### 3. 重複出陳

チーム競技と個人競技へは重複出陳することができます。

### 4. 申込方法

所定の出陳申込書に必要事項を記入し、出陳料を添え締切日までに大会事務局必着となるように申込み下さい。

### 5. 競技用具

- 原則として、本会指定の用具とします。ボールの飛行曲線が、ボックス上部のソフトカバーに触れることのないように調整して下さい。
- ボールは原則として、空気の抜けていない正規のテニスボールとします。ただし、犬のサイズを考慮し、危険性のない弾むボールで審査員長が認めた場合は使用することができます。
- ハードルの高さは、スモール20cm、ミディアム30cm、ラージ40cmとなります。

### 6. ボックスローダー・ヘルパー

〈ボックスローダー〉

- チーム競技並びに個人競技ともボックスローダーは、原則として当該チーム及び当該出陳者が用意して下さい。

- ボックスローダーは、ボックスの後ろに位置し、ボックス後部板の末端に両足を載せている、もしくは触れている状態で直立し、ボックスにボールをセットする時及び転がったボールを回収する時を除き、手を後ろに組んでいなければなりません。

- ボックスローダーは、声援により犬を勇気づけることができます。

- ボックスローダーは、審査員によりそのヒートが終了したことが宣言されるまで、所定の位置を離れてはなりません。

〈ヘルパー〉

チーム競技においては、ボールの回収及びハードルの設置を行うヘルパーを用意することができます。

### 7. 競技

競技は2レーンで2チーム(頭)が行います。

〈チーム〉

- 2チーム以上の出陳申込みがあった場合に行われます。
- 参加チーム数が3チーム以下の場合、リーグ戦(総当り)とし、4チーム以上の場合、トーナメント戦(勝ち上がり)とします。
- 組み合わせは抽選とします。
- トーナメント戦において、3席及び4席は決定戦によって決定します。なお、5席は当該席次が対象となるヒートのタイムによって決定します。
- ヒートを3回行い、2回勝ったチームが当該競技の勝利チームとなります。
- リーグ戦で勝敗が同率の場合は、ヒート勝率によって決定します。ヒート勝率も同率の場合は、ヒートのベストタイムによって決定します。
- 1ヒートごとのレーンチェンジは行いません。

〈個人〉

- 8頭以上の出陳申込みがあった場合に行われます。
- 全てヒートを3回行い、そのうち最も速いタイムを当該犬のベストタイムとします。
- スモール・ミディアム・ラージの各カテゴリーにおいて、ベストタイムの順によって席次を決定します。
- ベストタイムが同タイムの場合は、犬の年齢が若い方を上位とします。
- 1ヒートごとのレーンチェンジは行いません。

※チーム競技1チームのみ、個人競技7頭以下の申込みであった場合、競技会は中止といたしますが、デモンストラーションとしてフライボールを行います。

### 8. ヒート

〈チーム〉

- ヒートのスタートは、メインジャッジの合図で開始します。
- スタートの合図の前に犬の身体の内側のいずれかの部分がスタート・フィニッシュライン(2本のスタートフィニッシュボールを結ぶ架空の線)を越えた場合は、再度スタートとなります。ただし、二度続いた場合、当該犬はフライングとなります。
- 犬は静止した体勢、またはランニングの体勢からスタートすることができます。
- 犬は4つのハードルを跳び越え、ボックスのペダルを踏み、ボールを咥えたまま4つのハードルを跳び越え、戻ってくるものとします。
- 走行中の犬の身体の一部がスタート・フィニッシュラインを越えた時、次の犬がスタートすることができます。万一、これに違反した場合、当該犬はフライングとなります。
- 走行中の犬が、ハードルを転倒させた場合は、そのハードルが立っていると仮定して跳び越えていれば失敗とはなりません。ただし、メンバーは走行の妨害又は誘導とならない限り、ハードルを立て直すことができます。
- 4頭目の犬(又は、再度走らなければならなかった犬)の身体の一部がスタート・フィニッシュラインを先に通過したチームが、そのヒートの勝者となります。

# 実施要領

⑧ヒートの終了は、両チームの4頭目の犬がフィニッシュした時とします。

〈個人〉

- ①ヒートのスタートは、メインジャッジの合図で開始します。
- ②スタートの合図の前に犬の身体の内側の部分部分がスタート・フィニッシュラインを越えた場合は、再度スタートとなります。ただし、二度続いた場合、当該ヒートは無効と判断されます。
- ③犬は静止した体勢、またはランニングの体勢からスタートすることができません。
- ④犬は4つのハードルを跳び越え、ボックスのペダルを踏み、ボールを啜えたまま4つのハードルを跳び越え、戻って行くこととします。
- ⑤走行中の犬がハードルを転倒させた場合は、そのハードルが立っていると仮定して跳び越えていけば失敗とはなりません。ただし、メンバーは走行の妨害又は誘導とならない限り、ハードルを立て直すことができます。
- ⑥犬の身体の一部が、スタート・フィニッシュラインを通過した場合にゴールとします。
- ⑦妨害により、当該ヒートのタイム計測ができなかった場合は、再度当該ヒート及び残りのヒートをダミー犬と行うこととします。

## 9. 違反

チーム競技において、出陳犬が次のいずれかに該当した場合、当該犬はチームの最後尾で再度走らなければなりません。個人競技の場合、そのヒートは無効となります。

- ①出陳犬がフライングと判断された場合。
- ②出陳犬がハードルを跳び越えなかった場合。
- ③出陳犬がボックスのペダルを踏まなかった場合。
- ④出陳犬がボールを啜えずにフィニッシュラインを通過した場合。
- ⑤ハンドラーの足がスタート・フィニッシュラインを越えた場合。ただしチーム競技においてハードルを立て直す場合又はボールを拾う場合は除きます。
- ⑥ハンドラー又はボックスローダーによるアシストがなされた場合。

## 10. ヒートの中止

競技中、メンバー又は出陳犬が次のいずれかに該当した場合、当該チーム又は当該犬のヒートは中止とします。

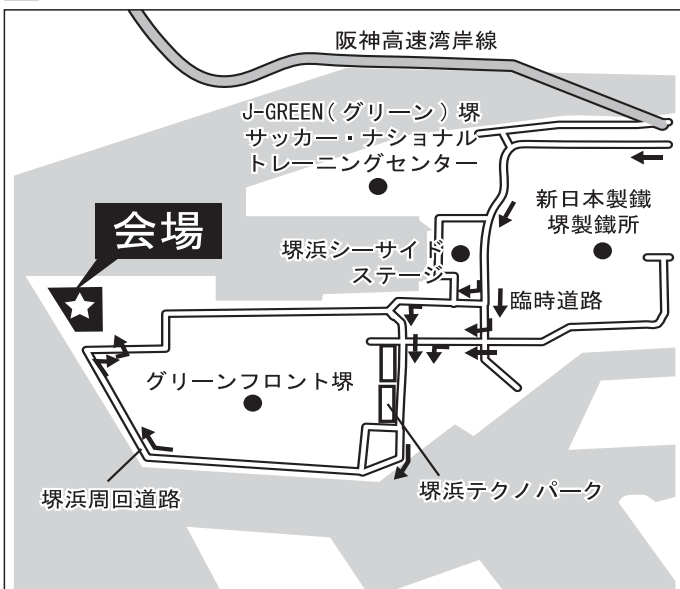
- ①出陳犬が競技に意欲を見せない場合。
- ②出陳犬がレーンに排泄した場合。
- ③出陳犬が逸走した場合。
- ④出陳犬又はチームのメンバーが、一方の出陳犬又はチームを妨害した場合。ただし、出陳犬がボールを追うことは妨害とみなされません。
- ⑤メインジャッジが中止と判断した場合。

## 11. 失格

次のいずれかに該当した場合、当該チーム又は当該犬は失格となります。

- ①出陳犬又はチームのメンバーによる妨害が度重なった場合。
- ②メインジャッジが失格と判断した場合。

## 会場 大阪府堺市海とのふれあい広場



## 12. 規制

ハンドラーは次の行為を行ってはなりません。

- ①審査員に対する暴力行為及び暴言。
- ②出陳犬に対する暴力行為。
- ③審査中の関係者に対する抗議行為。

## 13. 入賞

〈特別表彰〉

次の出陳犬に理事長賞を授与します。

- ①チーム競技の1席。
- ②個人競技の各カテゴリー1席犬の内から1頭。

〈チーム〉

1席～5席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

〈個人〉

スモール・ミディアム・ラージ各カテゴリー毎に1席～10席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

## 14. フライボールチャンピオン (FB.CH) 登録制度

(1) チーム競技で1席になったチーム4頭 (ただし、決勝競技において2ヒート勝利することが条件となります) にFB.CH.ポイント 5 Pが付与されます。また、個人競技のスモール・ミディアム・ラージ各カテゴリーのベストタイムに1.0秒加えたタイム以内で完走した犬にFB.CH.ポイント 3ポイントが交付されます。

〈チーム競技〉

フライボール競技大会 (本部主催) 5 P、ブロックフライボール競技会 3 P、ST連合会フライボール競技会 3 P、クラブフライボール競技会 2 P

〈個人競技〉

フライボール競技大会 (本部主催) 3 P、ブロックフライボール競技会 2 P、ST連合会フライボール競技会 2 P、クラブフライボール競技会 2 P

(2) フライボールチャンピオン (FB.CH) 資格の取得と登録

- ① FB.CH. Pを20ポイント以上取得した犬に与えられます。
- ② FB.CH取得に際しては、CDⅡ以上 (GD、IPO、BHを含む) の訓練試験資格の登録をしなければなりません。加えて、DNA登録も必要となります。

(3) FB.CH登録資格を満たした犬の所有者には、資格条件確認通知を送付します。資格条件確認通知を受けた日から3ヶ月以内に登録を完了して下さい。登録料は3,200円です。

## 参加上の注意事項

- ①本競技大会でのお弁当の配布はございません。予めご了承下さい。
  - ②車両は指定された駐車場の駐車位置に駐車して下さい。
  - ③一般利用客に迷惑をかけないように配慮して下さい。
  - ④リンク以外では必ず犬に紐を付けて通行して下さい。
  - ⑤駐車場内でのテント・タープ等の設営は禁止です。
  - ⑥水道設備がございません。各自でご用意をお願いします。
  - ⑦会場内では、火気厳禁となっておりますのでご協力下さい。
  - ⑧排便排尿は決められた犬のトイレで行って下さい。
  - ⑨ゴミ、吸殻、糞便は各自お持ち帰り下さい。
- ※以上の事項について遵守し、各係員の指示に必ず従って下さい。

最近、駐車場において、テーブル、イス等の張り出しとゴミ(排泄)等の放置が目立っていますので、ご注意、ご遠慮をお願い致します。

## 競技会事務局

〒591-8022 大阪府堺市北区金岡町1637-26

谷田宗次方

TEL 072-259-4360

主催 西日本ブロック訓練士協議会

担当 JKC大阪ブロック訓練士協議会